

CONCEPT
BOOK

The First Steps Into
Open Innovation

FOR A NO GATE

OPEN! TORANOMON

世界と日本をつなぐ玄関口に
新しい時代を開く
共創拠点が生まれる



世界にいい閃きを生む、
オープンイノベーションゲート。

TORANOGATE、誕生。

これまで関わらなかった人と人が出会い、

交わらなかった知恵や技術が刺激し合い、

今までにない価値をつくりだしていく。

これからはそんな「共創」の時代です。

世界と日本の接点として長く歴史を刻んできたこの虎ノ門に、

たくさんの「共創」を生み出すべく誕生するTORANOGATE。

都市の真ん中にありながら

豊かな自然と生きる喜びに満ちたこの場所から、

よりよい世界を実現するイノベーションが開かれます。



What is OPEN INNOVATION GATE?

オープンイノベーションゲートって何だろう？



さまざまな人が出会い、交わり、
未来をよくする閃きが生まれるきっかけの場所。
それがオープンイノベーションゲートです。

これからの虎ノ門に必要なのはどんな場所だろう。

それはきっと、オフィスワーカーがただ働くためのビルではないはず。

TORANO GATEは、虎ノ門を訪れるすべての人に開かれたゲートでありたいと考えました。

世界中からさまざまな思想やバックグラウンドを持った人々がこの場所に集い、

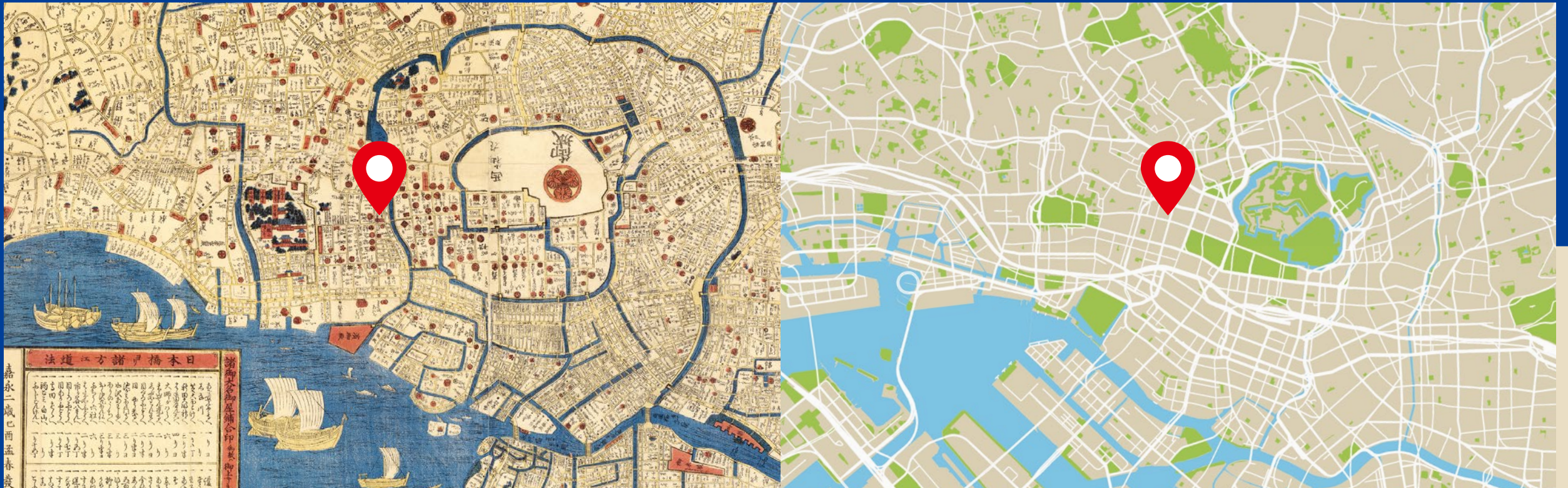
出会い、交わり、刺激し合うことで、新しい閃きが生まれる。

そうして生まれたイノベーションが、またよりよい未来をつくっていく。

そのきっかけとなる門こそが、オープンイノベーションゲートです。

What makes Toranomom a hub for open innovation?

なぜ虎ノ門はオープンイノベーションに向いてるの？



実は、虎ノ門は、
昔からオープンイノベーションの
街だった！

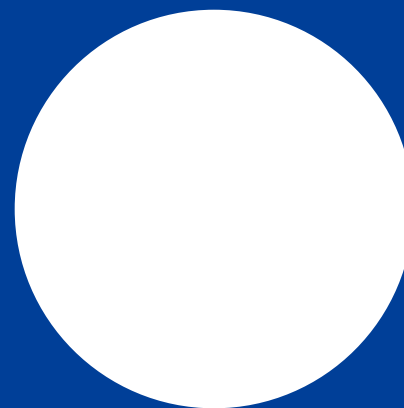


いつの時代も政治の中枢に近く、また商業地として、
官から民までさまざまな人の交流が盛だった虎ノ門。
だからこそ、この街には日本や世界中から人が集まり、
これまでも経済や文化に多くの閃きが生まれてきました。
そんな街の役割はこれからも同じです。
世界中からさまざまな人や情報、ビジネスや文化が集まり、
新しい閃きを生み出し、
世界へと発信する門のような街となる条件が揃っているのです。



TORANOGATE STORY ①

「閃」という漢字から、
コンセプトが生まれた!?



門に人が集まると、
閃きが生まれる。

それは、私たちが実現したい
この場所の価値そのものです。
このTORANOGATEという
門にさまざまな人を集めることで、
たくさんの閃きを生み出したい。
そんな思いから

「OPEN INNOVATION GATE」
というコンセプトは生まれました。

What has been designed for open innovation?

オープンイノベーションのために何をデザインしたの？



LIVE ARCHITECTURE

心地よいつながりを生み、閃きの起点となる
「都市の居場所」をつくるデザイン。

世界中からさまざまな人が集う場所になるためには、

みんなにとって居心地のいい場所でなければならないと思います。

まず緑が多く、自然に抱かれるような感覚が必要。

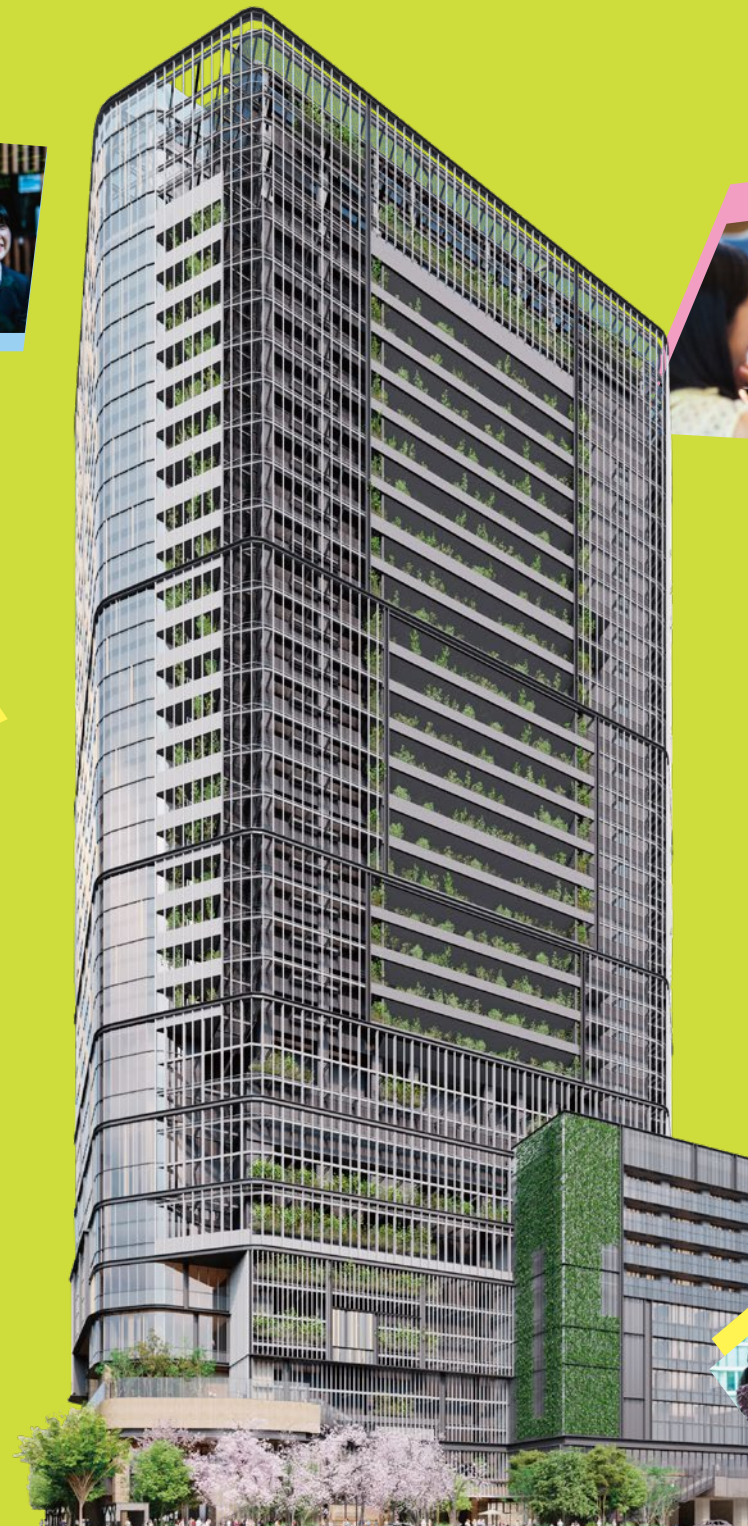
そのために自然と調和する東洋思想を建築デザインに取り入れました。

テラスを中心に建物全体でつながり、周辺にも広がる緑地。

最上階の庭園から降り注ぐように各階のバルコニーへと流れる小川。

光や水や風を感じられる森のような空間から、

人と人の心地よいつながりを生み、閃きの起点となる場所を目指します。

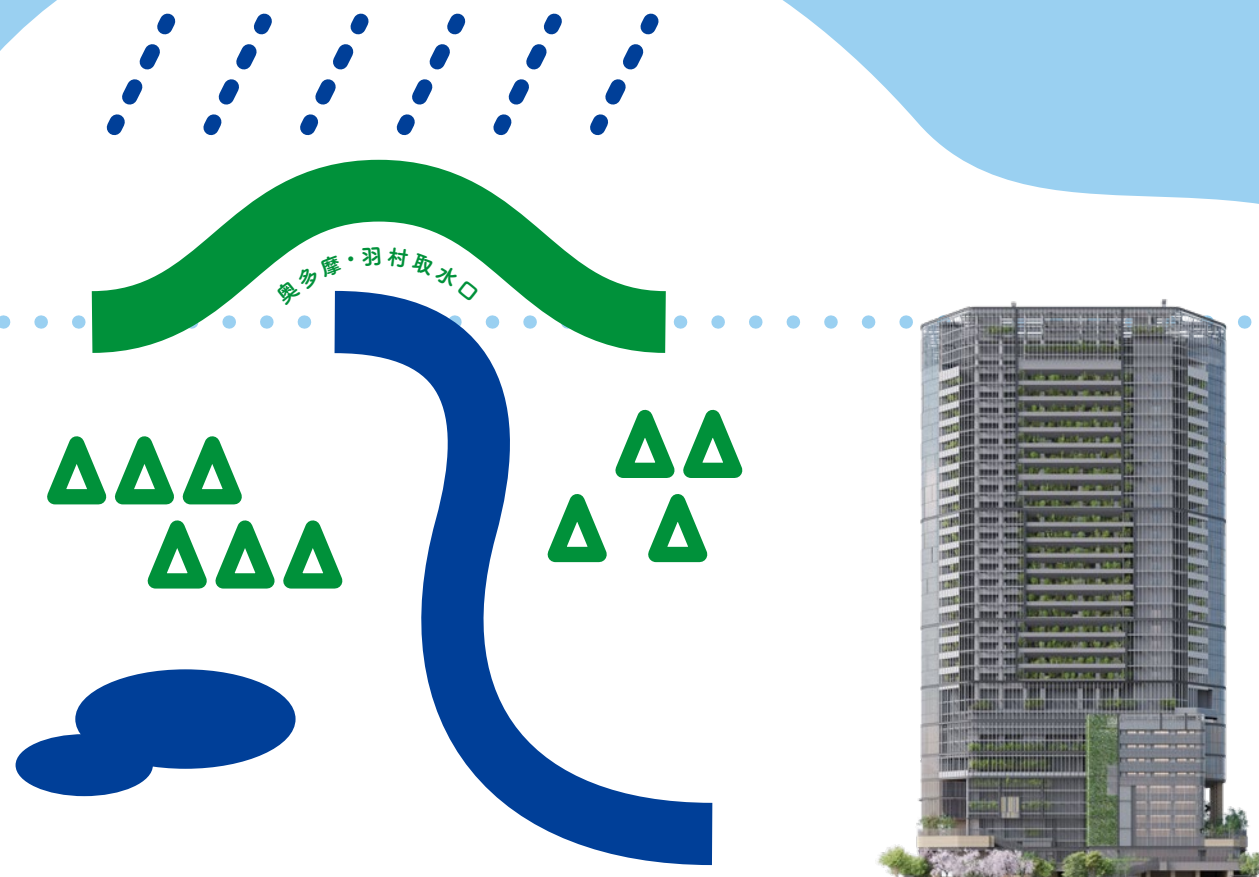




PORTLAND GATE

TORANOGATE STORY ②

屋上庭園から流れる小川は、
玉川上水をイメージ!?



奥多摩を思わせる

小川の流れる感じられる建物。

虎ノ門はかつて、奥多摩から溜池を介して

江戸の街に水を分配する要所でした。

そんなこの街の歴史から着想を得て、

玉川上水の「羽村取水口」とほぼ同じ高さの

屋上から建物の各階へと小川のように

水を流すとともに、降り注いだ雨水を

施設内の植栽維持に活用します。

What can you find at the OPEN INNOVATION GATE?

オープンイノベーションゲートには何があるの？

イノベーションセンター

官と民の垣根をこえた共創から、
イノベーションが開かれる。

虎ノ門という街の歴史と個性を活かして、

国や地方自治体などの「官」と

市民・NPO・事業者・教育／研究機関などの「民」が

フラットに交流・議論できる共創の場。

社会活動と経済活動の調和のとれた和をなす社会の実現に向けた

取り組みの創出・活性化を目指します。

最上階ラウンジ&屋上庭園

玉川上水とほぼ同じ高さの屋上には奥多摩の自然を感じられる庭園。



オフィス基準階バルコニー

屋上庭園から流れる小川の揺らぎと
水音に癒されるバルコニー。



1階広場

地域を活性化する社会貢献の場として
イベントにも利用できる広場。



大階段&1階パサージュ

地下鉄駅直結の開放的な大階段や街に開かれた1階のパサージュ。
「虎ノ門のGATE」として多様な人々を心地よく迎え入れます。

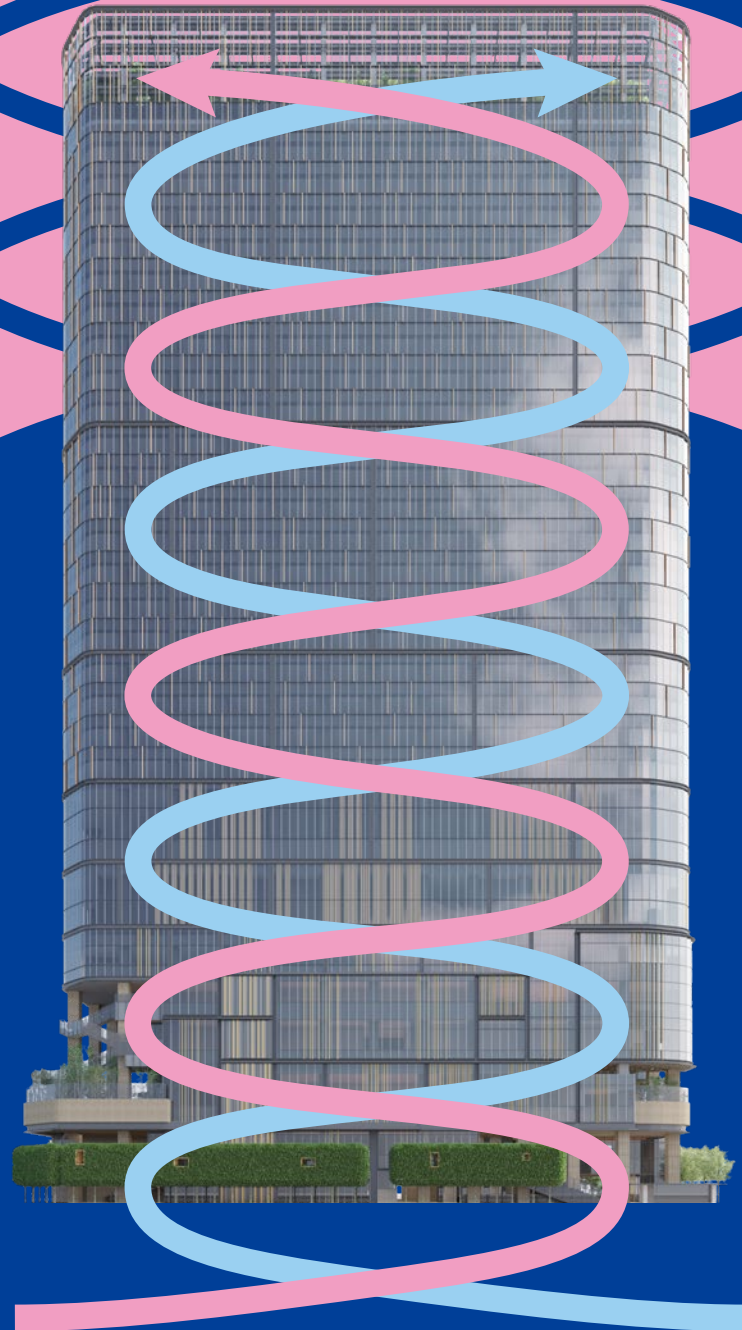


TORANOGATE STORY ③

虎ノ門駅から3階まで、
思わず歩いてしまう!?

建物全体をスパイラルにつなぐ、
ランドスケープデザイン。

地域にも開放された3階のガーデンテラスを中心に、
そこへ至る通路を風通しのいいランドスケープに。
各階をスパイラル動線でつなぐことで、
地下から1階、そして上層階へと心地よく誘うとともに、
低層階全体が立体的に広がり
虎ノ門の街に活気を生み出します。



What can you expect at the OPEN INNOVATION GATE?

オープンイノベーションゲートから何がはじまるの？



テラスで社外の人と雑談。
彼の何気ないひとことが、
煮詰まっていた
企画のヒントになった。

同じビルに入居している
企業の関係者たちと
ひとつのテーブルで会食。
社内では聞けない話ばかりで
刺激しかない。



虎ノ門を訪れたら、
そのまま思わず施設の中へ。
調べると共創イベントも
やってるみたい。
また遊びにきてみよう。



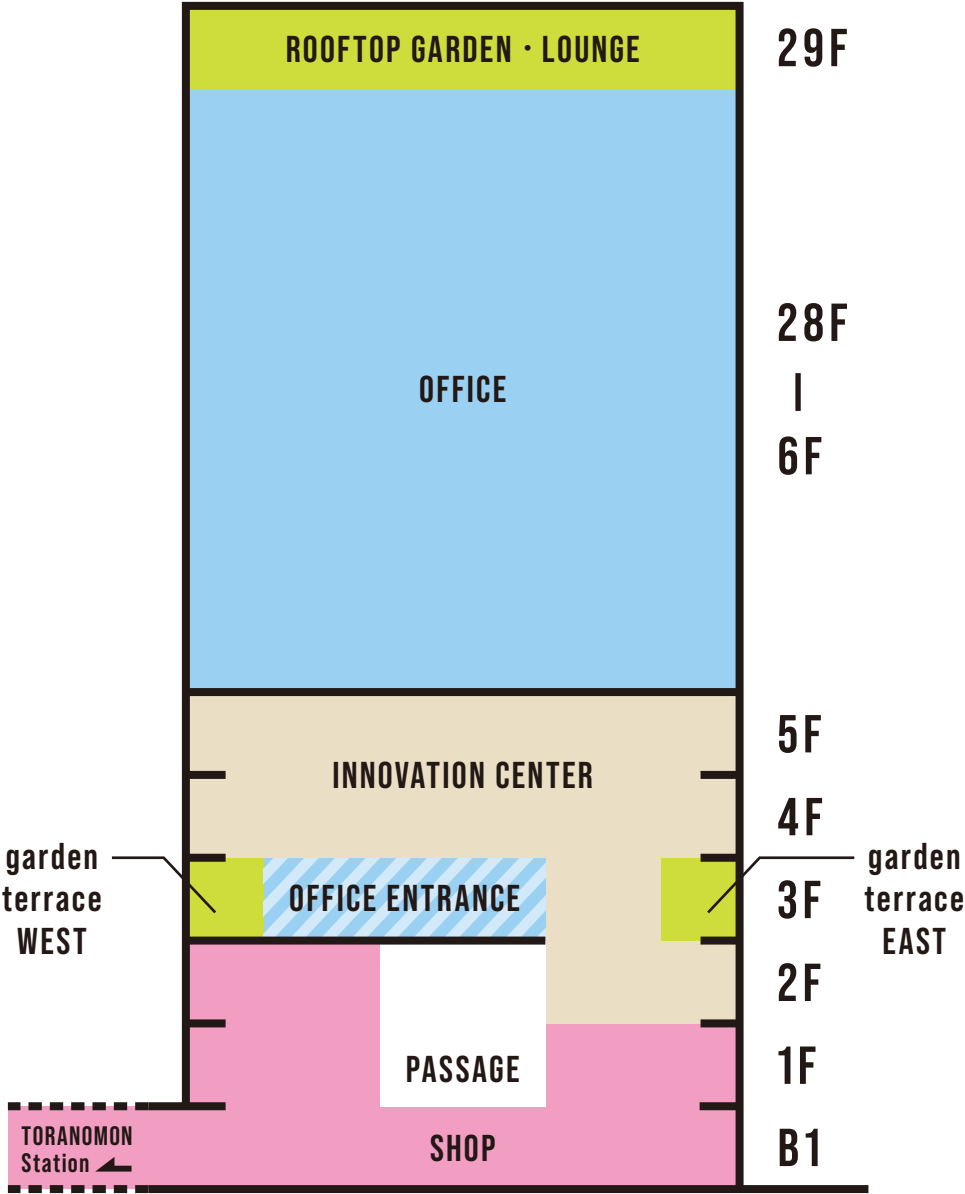
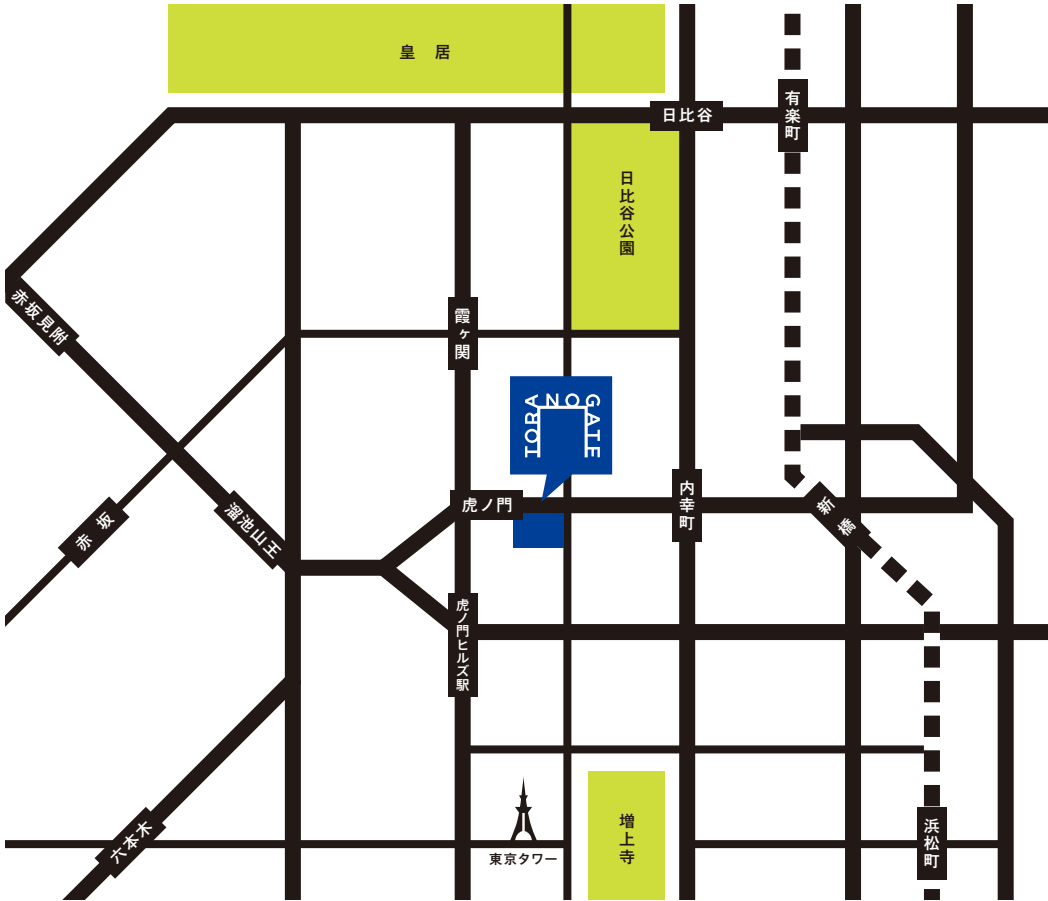
仕事終わりに地元のお祭りに参加。
同じハッピーを着た社外の人と
意気投合して、今度飲みに行くことに。



Open innovation from Toranomon to the World.

この虎ノ門から、
世界にいい閃きが生まれますように。

古くから世界と日本をつなぐ接点であった虎ノ門。
TORANOGATEはその遺伝子を大切に受け継ぎながら、
この街に新しい時代を開くゲートでありたいと思います。
そして虎ノ門から世界へ、たくさんの革新的な閃きを生み出していけるように。
人と人を心地よくつなぎ、共創を誘発するきっかけとなっていきます。



事業概要	施設名称	TORANOGATE
	事業主体	虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合
	所在地	東京都港区虎ノ門一丁目1000番
	敷地面積	6,397.27㎡
	延床面積	119,886.17㎡
	主要用途	事務所、店舗、ビジネス支援施設等
	階数／高さ	地上29階地下4階／171.31m
	設計	株式会社日本設計
	施工	戸田・西松建設共同企業体
	建築デザイン	株式会社小堀哲夫建築設計事務所
ランドスケープデザイン	ランドスケープデザイン	株式会社ランドスケープ・プラス
	ブランディングディレクター	春蔭プロジェクト株式会社・株式会社GOODTIME